

いずみ

令和5年度 1月号
図書委員会 2年8組



令和6年になりました。気持ちも新たに3学期がスタートしましたね。

年末年始は、本を読んでゆっくりする時間はありましたか。本を読んだり、新聞を読んだりする習慣をこの1年で身につけてみてはいかがでしょうか。スマホの世界より、楽しい世界が本の中には広がっていると思います。今年初の1冊を是非図書館で借りてくださいね。



今年度2回目のブックショッピングが12月18日(月)に行われました。参加者は2年生男子2名、1年生女子5名の計7名でした。その他、現地でばったり会った3年生の女子も参加してくれました。場所は【いよてつ高島屋7階・紀伊國屋書店】です。

初参加の人が多く、幅広いジャンルの本が集まりました。松北のみんなに読んでもらいたい本ばかりを購入してきたので、是非、図書館に足を運んで手に取ってみてください。60冊ほど購入した本の中から、一部を紹介します。

『すべての人にいい人である必要なんてない』 キム ユウン【著】/西野 明奈【訳】

つらい日も悲しい日も毅然として淡々と自分を見失わずに心を守る82のエッセイ。韓国で60万人が大共感！5年連続年間ベストセラー!!



『紫式部は今日も憂鬱—令和言葉で読む「紫式部日記」』 紫式部【著】/堀越 英美【訳著】

引きこもり作家が後宮で働いてみたら…！？1000年前も現代も、悩むことは皆同じ。出世したらいきなりアウェイ、同僚はみんな深窓の令嬢、仕事相手はクセつよ貴族官僚。30代 OL 風に超訳。

『ケガをしないカラダづくり—イラストで見るスポーツ医学とトレーニング』

広瀬 統一/泉 重樹/福田 崇/稲見 崇孝【編著】

「ケガを防ぐ」を分かりやすく！種目別・部位別にケガとその予防トレーニングを徹底解説！補強要素を知ること、早期のリハビリ法を身に付ける！

『息が詰まるようなこの場所で』 外山 薫【著】

大手銀行の一般職として働く平田さやかは、念願のタワマンに住みながらも日々ストレスが絶えない。一人息子の過酷な受験戦争、最上階に住む医者一族の高杉家、エリートコースを歩む同僚やPTAの雑務。種々のストレスから逃れたいと思ったとき、向かったのは親友・マミの元だった。幸せとはなんなのだろう。東京砂漠を生きる人々の焦燥と葛藤！

『ある閉ざされた雪の山荘で』 東野 圭吾【著】

早春の乗鞍高原のペンションに集まったのは、オーディションに合格した男女7名。これから舞台稽古が始まる。豪雪に襲われ孤立した山荘での殺人劇だ。だが、1人また1人と現実に仲間が消えていくにつれ、彼らの間に疑惑が生まれた。はたしてこれは本当に芝居なのか？驚愕の終幕が読者を待っている！

『5分後に意外な結末ベスト・セレクション 金の巻』 桃戸 ハル【編著】

胸熱の友情や家族愛、キュンとする恋バナ、身の毛もよだつサイコホラー。たった5分で読めて、あっと驚く結末の20話のショート・ショート。



～近日中新着コーナーに登場です！～



★本の貸し出しについて★

3年生は、1月末で本の貸し出しを終了します。必ず期限を守って返却してください。また、1・2年生も返却期間を過ぎている本を早く返却してください。その本を読みたくて待っている人がいます。ご協力をお願いします。



★多読賞のお知らせ★

一年間で、より多くの図書館の本を借りてくれた人を表彰します。期間は、令和5年度4月から1月末までです。ラストスパートをかけようと思っている人、頑張ってください。

《図書委員お薦めの本 part9》



書名	作者名	お薦めの理由	図書委員	
また同じ夢を見ていた	住野よる	「人生とは～」が口癖のちょっとおませな女の子が国語の授業で出された「幸せとは何か？」について出会った3人の女性の人生経験を踏まえて自分の答えを出していくのが面白いから。	101	村田碧海
私が大好きな小説家を殺すまで	斜線堂有紀	遙川悠真の小説を愛する少女、幕居梓は、偶然彼に命を救われたことから奇妙な共生関係を結ぶことになる。しかし、遙川のスランプを慰めようとした梓が小説を書いたことで、二人の幸せな共生関係は破滅へと向かい始める…。この本は、最初の一文で世界に引き込まれ、最後の一文で涙腺と感情のせきどめが決壊します。読み終わった後にきっと、「他に方法はなかったのか」と思うはずです。遙川と梓の美しくも泥臭い崩壊劇を是非お読みください。	101	藤内陽莉
やはり俺の青春ラブコメは間違っている	渡 航	登場人物それぞれに、凝ったストーリーがあり、主人公の発言や考え方がかなり面白いと思うからです。	102	丸野知晃
そして、バトンは渡された	瀬尾まいこ	家族の物語で最後にはとても感動する。母親がどんな理由で主人公を置いて出て行ったかがわかっていって読み応えがある本だから。	102	濱本香音
屋上のテロリスト	知念実希人	ポツダム宣言を受諾しなかった日本のその後が書かれている話。実際にはなかった事なので、今と比べて読んでみるのがとても面白い。	103	井上こころ
5 4 字の物語	氏田雄介	5 4 字で理解できる物語がたくさんあり、時間がない時でもサクッと読め、キリの良いところで読み終える事ができます。また、シリーズも沢山あるのでとても面白いです。	103	川内美空
ラゲージより愛を込めて	辺見じゅん	今の生活は当たり前ではないということを改めて感じる事ができ、戦後の日本についても学べると思うのでお薦めします。	104	権藤健太
同じクラスに何かの主人公がいる	昆布山葵	一見ただのファンタジー小説に見えるけど、モブに徹しようとしている人が自分の生きている世界がフィクションだと気づいている所や、主人公然としている人と、怪人とのバトルシーンの言い回しがギャグみたいで、すごく面白いです。	104	城本未有羽
優しい死神の飼い方	知念実希人	亡くなった人の魂を導く死神が、上司の命令によって地上の犬の体に入れられホスピスに派遣された。派遣先の看護師である奈穂にレオという名前を付けられホスピスで様々な過去を持ち未練がある人の過去の謎を解き明かしていく中で人間の感情に触れ、それまで必要ない物と思っていた感情を知った。しかし、レオの行動によって現在のホスピスに危機を起こしてしまった。レオがこの後どのような行動をどういった思いでとったのかを知ればとても感動したからです。	105	井上鷹太郎
カラフル	森絵都	前世の罪によって輪廻のサイクルから外された主人公の魂が天使業界の抽選にあたり、再挑戦のチャンスを得る。自殺をした少年の体にホームステイをし、自分の罪を思い出さなければ輪廻のサイクルに戻れない。この本がお薦めの理由は、読みやすい文体で活字が苦手な人でもサクサク読むことができる。主人公が同世代で、感情移入しやすいのでお薦めです。	105	中野楓芽
シュガーレス	山本文緒	この本に出てくる登場人物達は、全員身近なストレスが元になっている悩みをかかえており、その登場人物達がそれぞれの問題を解決し、自分を変えようとしている姿を見ると自分も頑張ろうと思える。	106	梅木涼輔
八月の母	早見和真	愛媛県伊予市で実際に起こった事件をもとに作られた作品。一人の母親に焦点をあて、物語が進められていき、進んでいくにつれて母親の二面性が作者によって激情的に描かれているため。	106	伊藤優希